

区議会  
第3回  
定例会

貧困と格差の是正  
保育園の待機児解消

日本共産党

# 暮らしを応援する区政に

北区議会第3回定例会は、10月7日に閉会しました。7日間にわたって開かれた決算特別委員会では、日本共産党北区議員団が貧困と格差の是正、保育園待機児解消など区民の切実な要望をかがけて論戦、過去最高に積み上がった533億円の基金も活用して区民の暮らしを応援する区政の実現を求めました。

子どもの貧困対策、感震ブレーカー助成

## 日本共産党議員団の「組み替え予算」の意義鮮明に

日本共産党は、昨年度と今年度の当初予算に対し、年金引き下げの影響や国保料・介護保険料値上げの負担を軽減する「暮らし応援手当」の創設、特養ホームと認可保育園の増設、子育てファミリーやひとり親家庭への支援などを柱とする「組み替え予算」を提案してきました。今回の決算委員会では、自民・公明など与党からも「子ども食堂に支援を」、「感震ブレーカー設置に補助を」などの要望が相つぎ、あらためて組み替え予算の意義がうきぼりとなりました。

学校適正配置協議

## 「統合ありき」でなく、学校残して

現在、学校適正配置協議がおこなわれている桐ヶ丘中ブロックでは、教育委員会が4つの小学校を3校にするよう提案しています。しかし、すでに統合した学校では教室が不足し校庭にプレハブを増築する事態も。桐ヶ丘地域では大規模団地の建替えや再生事業、東洋大学の施設などで人口増が見込まれており、自治会やPTAの代表からも「統合ありきではなく、4校存置も検討してほしい」との要望が寄せられていることから、日本共産党は「協議会では学校数現状維持も視野に入れ可能性をくみつくした議論を」と求めました。



## 待機児解消、打開の決め手は区立認可園定員拡大と処遇改善

この春、北区の保育園待機児は232人に増加、「隠れ待機児」を含めると504人でした。区は来春までに1090人の定員増計画を示しましたが、民間事業者や園庭のない小規模保育所だのみでは目標達成は厳しい状況です。一方、区の正規保育士募集には80名定員に500名を超える応募があったことが党区議団の質疑で明らかに。区立認可保育園の定員拡大と保育士の処遇改善こそが、待機児解消の決め手であることがはっきりしました。

## 区外からの陳情「審査せず」

自・公・民クが議決

自民、公明、民進クラブは、北区外から提出された陳情は審査しないとする会議規則の変更を議決しました。日本共産党は「区内・区外の区別なく審査してきたこれまでの慣例を破るもの」と批判、4人の無会派議員とともに反対しました。

お困りごと・ご相談はお気軽に地元の区議会議員へ

日本共産党  
北区議員団

TEL 3908-7144 FAX 5993-0280



宇都宮 章  
神谷3-10-8-401  
090-4127-7550  
神谷、東十条1~4、王子1丁目4~28番、2丁目1~20番、同23~32番、3丁目1~19番、4丁目1~24番、王子5、豊島1丁目1~11番



さがらとしこ  
赤羽北3-23-17  
3905-0970(事務所)  
桐ヶ丘、赤羽台1・2丁目、3丁目19~30番、同17番74号を除く17番全部、赤羽西5・6丁目、赤羽北3丁目



ながいともこ  
浮間3-1-54-302  
080-4429-6338  
浮間、赤羽北1・2丁目、赤羽西1~4丁目、赤羽台3丁目1~16番、同17番74号と18番、赤羽台4丁目



野口 まさと  
東十条5-16-10  
070-5658-0603  
上十条、中十条、十条台2丁目、十条仲原、岸町2丁目、西が丘、東十条5・6丁目



のの山 けん  
岩淵町22-31-401  
090-2156-3510  
赤羽、赤羽南、岩淵町、志茂



福島 宏紀  
豊島5-4-1-615  
090-1206-6925  
豊島5丁目、6丁目8~15番、7丁目15~33番、豊島8丁目、王子3丁目20~24番、4丁目25~28番、王子6丁目



本田 正則  
田端3-4-12-305  
090-9240-8066  
田端、中里、西ヶ原、上中里1丁目、東田端、田端新町、昭和町



やまき 直人  
滝野川2-34-4-201  
3917-9827  
滝野川、王子1丁目1~3番、王子本町、岸町1丁目、十条台1丁目



山崎 たい子  
豊島7-19-10  
090-2160-1292  
豊島1丁目12~39番、豊島2~4丁目、6丁目1~7番、7丁目1~14番、王子1丁目29・30番、2丁目21・22番、堀船、上中里2・3丁目、栄町

日本共産党北区議員団ニュース

2016年  
秋号

発行:日本共産党北区議員団  
〒114-8508 北区王子本町1-15-22

日本共産党北区議員団

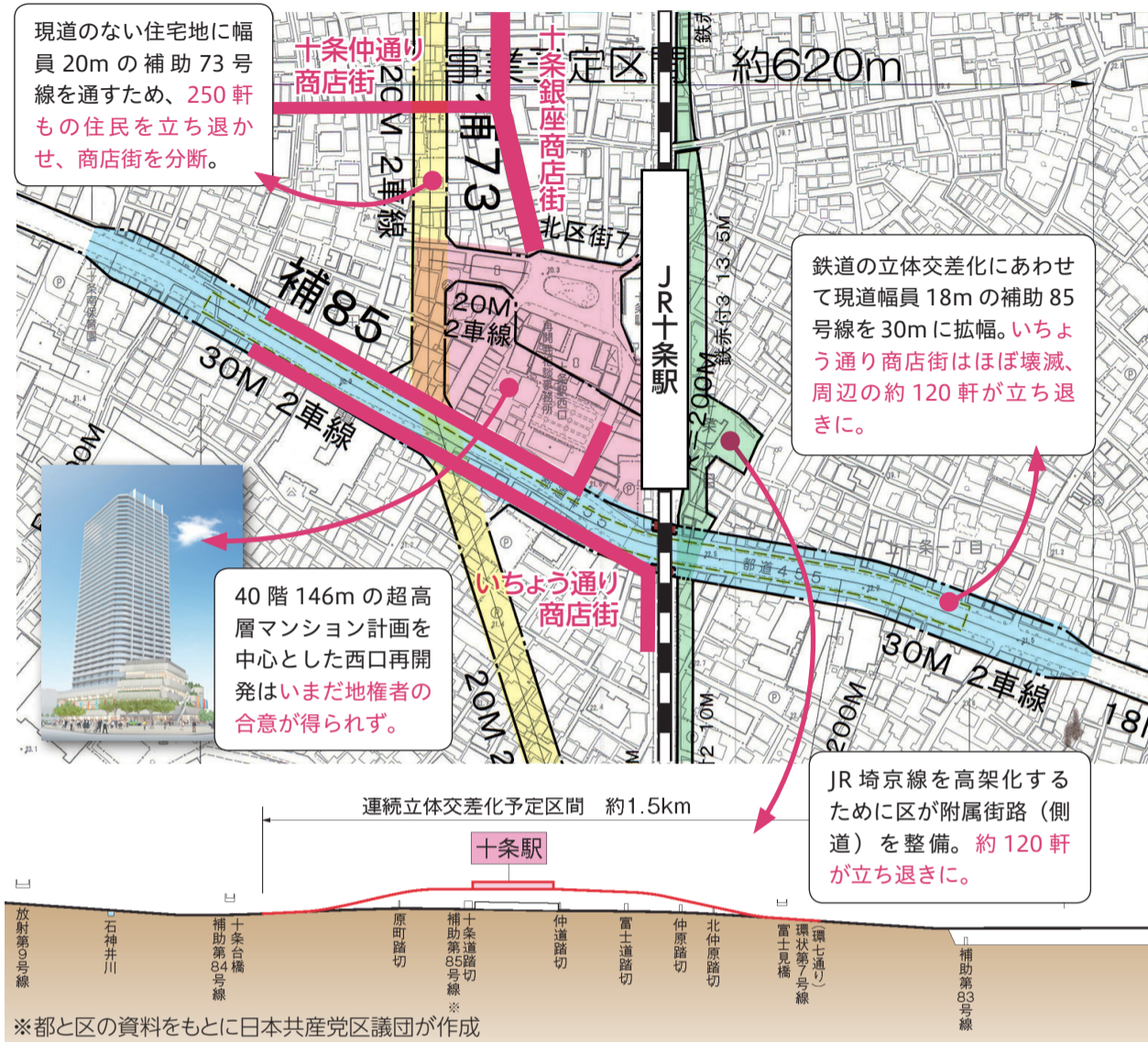
検索

http://kyoukita.jp

## 十条駅 立体交差化 計画

# 鉄道「高架」案に 異論続出

全ぼうが明らかになってきた十条のまちづくり。東京都と北区が、年度内にもJR埼京線の立体交差化と補助85号線の拡幅計画を都市計画決定しようとしています。一方、地域住民からは、「どれだけの住民と商店街を立ち退かせれば気がすむのか」との声があがっています。



## 地元住民の声は「地下化で」

10月14日、15日の両日に東京都、北区、JRが開いた埼京線連続立体交差化と関連する道路の都市計画案住民説明会では、都が示した高架案に対して、「北区も議会もずっと地下化とってきたではないか」、「事業費は安いかもしれないが、住んでいる人や将来のまちのためには地下化の方がずっと良い」、「地下化なら騒音や振動の心配もいらない」など、異論や反対意見が続出しました。

日本共産党区議団は、旧国鉄と北区が「地下化」での施工を約束していた事実を明らかにし、あらためて地下化の計画に変更するよう求めました。

## 庶民のまち十条をこわすな

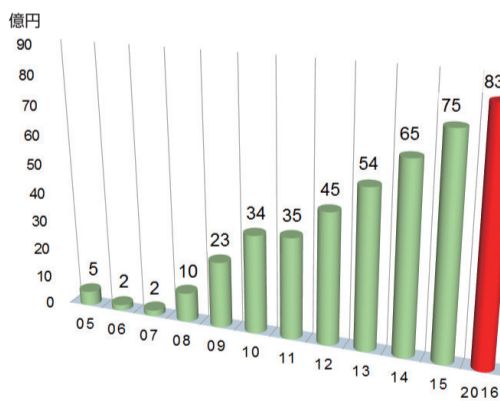
現在、十条では、駅西口再開発、補助73号線、鉄道立体交差化と附属街路、補助85号線という4つの事業が同時並行ですめられています。

これらの計画によって、約500軒の住民が立ち退きを迫られ、十条に住み続けることができなくなります。また、いちよう通り商店街や仲通り商店街、富士見銀座商店街は撤退や、寸断を余儀なくされます。コミュニティや商店街を乱暴に壊す計画は、大本から見直しが必要です。

## 十条まちづくり基金

毎年10億円を積み立て

# 80億円に



「数年後には約60億円が必要になる」という十条まちづくり基金。定額貯金のように毎年10億円ずつ積み立てて、2016年度にはすでに、80億円を超える規模に達しています。

その一方で...

## 880万円の支援打ち切りで浮間のバス路線が廃止に コミュニティバス新規路線を早期に

浮間唯一のバス路線、国際興業赤06便は、区がわずか880万円の支援金を打ち切ったため、10月1日より廃止となりました。

こうした事態を受けて日本共産党は区議会で、コミュニティバス新規路線の早期実現をはじめ、高齢者や障がい者など交通弱者の足を確保するため、あらゆる方策を講じるよう求めました。



そねはじめ都議とともに、国際興業に赤06便の存続を求める要望書と署名を提出する地域住民ら = 2016年7月13日

## 区民の願いはばむ 「行革」路線

北区が掲げる「経営改革プラン2015」、「公共施設再配置方針」によって、区民のサービスと施設がつぎつぎと切り捨てられようとしています。「行革」方針は見直しが必要です。

## 区民事務所が大混雑 分室は削減でなく拡充を

転入・転出事務などをおこなう王子区民事務所では、繁忙期に最大5時間待ちとなるなど大混雑となっています。問題の根底には、職員の削減を目的に、19あった窓口を3つの区民事務所に縮小した15年前の出張所再編があります。

区は経営改革プランで7つの分室を見直すしていますが、分室は削減ではなく拡充こそ必要です。

## 上中里コミュニティ会館、 児童館が相つぎ閉館へ

「20年間で施設面積の15%を削減する」とした公共施設再配置方針にそって、上中里コミュニティ会館や児童館が相つぎ閉館へと追い込まれています。施設利用者からは「代替施設の提示もなく閉館するのはひどい」などの声が寄せられています。

施設削減ばかりをことさら強調する、現状に即していない数値目標は見直すべきです。